## 整理番号 1269

## 周西金石文 データシート

シー	一ト者	番号	7105-01	名	称	明治原	<b></b>
分		類	記念碑	場	所	人見	青蓮寺
小	分	類	遭難碑	メッシ	ュ番号	1815	
年		号	和暦:大正2年8月 西暦:1913年				
形		状	自然石型				
サ	イ	ズ	高:221 c m、				
画像番号			7105-01-01(表)				

## 碑難遭戊庚治明



(碑文

コメント;碑文は次ページ参照。

## **吩治庚戊遭難碑**

民ハ爭 没ス既 キ哉此 梵鐘一 タレ リ 常 ラス 満座皆聲ヲ飲 兒獨リ存シ匍匐シテ逃 ヲ被害ノ家大ナリシ周 八百二十 災民ヲ賑恤 夜奔走専ラ弔慰 人ヲ警誡 一今ノ ·今又未曽 獨リ我君津 、及ヒ傷痍三十七人横死七十人ヲ算 十コ枕ヲ並 二孝姑ヲ援 庚 災死傷 一辞ス 杵齋シク普門品ヲ誦ス聲音抑揚香烟繚繞 ニシニ天明 八月十 郡 財 ス若 所 カラス 轉 ヲ 橋梁ヲ失フ二百六 有 ミ襟ヲ霑ササ 皆山 夫 任 醵 タリ其金千三百四十九圓之ヲ須ツ差アリ此ノ日會スル者僧侶二百他ハ幾千人ナルヲ知ラス ヘテ梁下ノ鬼ト為リ妻子ト ケントシテ共ニ僵レ 事 救 ケ 法 日 濟 郡此 ルニ方リ後事ヲ君津 乃チ往事ラ追 會卜 風 カヒ致シ扶助救護至ラサルナシ醇厚ノ俗欽スヘシ柳建碑ノ事計既ニ定 ノ墜落ニ歸因ス巖牆 昧 西村 詳 ル 雨 爽天候急 、其佗千態万状今ニシテ之ヲ思フモ五内裂ケント欲ス當時予ハ本郡長ニ承乏ス 賑 事ニ從ヒ且檄シテ慈善ノ義損ヲ募リ更ニ各寺院ヲ促シ死者 止 ノ惨毒ヲ被 恤 遭難録ニ具シ村ノ青蓮寺ニ藏ス有志者就テ觀ンコト ĺ ム此 中央ニトシ壇ヲ築キ場ヲ設ケ以テ一大薦事ヲ営ミ七十ノ靈魂ヲ祭リ百九 卜 ハナシ是 + ニ會ヒ歡喜泣涕恩ヲ謝セサル ノ 間 變シ颶 懷 壯 シ其 ムル 所 道 天アリ ヨリ先キ災民ハ縣知事 ス 田 路 誰力謂 何ソ 稉 郡長二託 風 畑 ヲ ノ一古人警ム將來居ヲトシ家ヲ營ム者顧ハサ - 共二濁 宅 概ヲ敘シ以テ災異 損 樹ヲ抜 其 常 ラー 地 ハ小糸川ノ水ノ流モ咽ヒ人見ノ山 フ レ = **天道私** はキ豪雨が 浪二 萬八千八百十 ス頃者其成ニ及ヒ郡長 義仁ノ危キニ□リテ命ヲ殞ス難ヲ隣 惨ナル此ノ 埋ム三百六十所 流サレ鰥夫獨リ魚腹ノ難ヲ免カレ ナシト予ハ信 海ヲ倒ス忽ニシ ヘノ畏ル ハナシ想フニ死者亦 、時縣内利根沿岸巨浸ニ苦ミシモ人ヲ殺 ヨリ皇室 間 堤防ヲ破フル 電 ^ 柱 、ク家居 ゴヲ覆ス にスル ノ恩賜大方ノ義金三百六十圓ヲ須 テ溪谷暴漲 ハ文ヲ予 能 九 ノ選ハ ハス且其死皆惨憺ヲ極 百二十 ヲ ノ松ノ色モ幽ナリ此ノ時 - 四本 請 解脱ヲ得タルヘシ悦 属 濁 サ ルヘ 家 -家屋ヲ 七 百口 浪 ル セラルニ予不文然 父母 間 工 汎 ^ マリテ果サス後 ]ノ忌辰 避 Щ カラス當時 カサルヲ告ケ 濫 崖ヲ ケテ 倒 田 鮩 ス三 袁 崩 却 二於テ地 屍 テ慶レ スニ至 ス ノ 下 百 ム婦 水 匹 十四四 乃 底 郡 九 孤

月

遭

第

匹

周

原年忌日

千

葉縣安房

那長從六位勲六等

岡

撰

並

識

岡

石

匠

Ш

 $\mathbb{H}$ 

耕